

〔ヤナギ科 外来ポプラ類 *Populus* の和名・学名の混乱を検証する〕 (p2)

## 《1. 狭円柱樹形のポプラ》

各文献での学名は、*P. nigra* var. *italica*、*P. nigra*、*P. × canadensis*、の三形がみられる。

1-1. *italica* 採用文献一覧(変種・栽培品種としている)

- ◇*P. nigra* L. var. *italica* Koehne イタリアヤマナラシ<杉本1978>
- ◇*P. nigra* L. cv. 'Italica' セイヨウハコヤナギ<北村四郎1979>
- ◇*P. nigra* var. *italica* セイヨウハコヤナギ<小林1980>
- ◇*P. nigra* L. *italica* Moench. セイヨウハコヤナギ(ポプラ、ピラミッドヤマナラシ)<松崎・他1983>
- ◇*P. nigra* L. var. *italica* Moench (*P. italica* (Muenchh.) Moench) セイヨウハコヤナギ(ピラミッドヤマナラシ)<大井1983>
- ◇*P. nigra* L. var. *italica* Moench. (*P. pyramidalis* Borkh.) セイヨウハコヤナギ・カロリナポプラ(ポプラ、ピラミッドヤマナラシ)<松崎・他1983>
- ◇*P. nigra* L. var. *italica* Koehne イタリアヤマナラシ(セイヨウハコヤナギ)<林1985>
- ◇*P. nigra* L. var. *italica* Moench セイヨウハコヤナギ<木村1989>
- ◇*P. nigra* L. var. *italica* Moench. (*P. nigra* L. 'Italica') セイヨウハコヤナギ(イタリアポプラ、ポプラ)<北村四郎・斎藤1989>
- ◇*P. nigra* L. var. *italica* Moench. セイヨウハコヤナギ(ポプラ)<沼田1990>
- ◇*P. nigra* var. *italica* イタリアヤマナラシ<吉山・他1992>
- ◇*P. nigra* L. var. *italica* Moench (*P. pyramidalis* Borkh. ; *P. italica* Moench) ポプラ(セイヨウハコヤナギ、他多数あり)<上原1995>
- ◇*P. nigra* L. cv. 'Italica' セイヨウハコヤナギ(ポプラ)<湯浅1995>
- ◇*P. nigra* L. var. *italica* Du Roi ポプラ(セイヨウハコヤナギ)<家永・他1996>
- ◇*P. nigra* var. *italica* セイヨウハコヤナギ(イタリアヤマナラシ、ポプラ)<北村文雄・他2001>
- ◇*P. nigra* L. var. *italica* Moench イタリアポプラ(セイヨウハコヤナギ)<斎藤2001>
- ◇*P. nigra* L. var. *italica* Moench. イタリアヤマナラシ(イタリアポプラ、ポプラ)<長谷川2001, 2003>
- ◇*P. nigra* var. *italica* イタリアポプラ<横井2003>
- ◇*P. nigra* L. var. *italica* (Duroi) Koehne セイヨウハコヤナギ(イタリアヤマナラシ)<邑田2004>
- ◇*P. nigra* L. var. *italica* (Duroi) Koehne セイヨウハコヤナギ(ポプラ)<牧野2008>
- ◇*P. nigra* L. var. *italica* セイヨウハコヤナギ(ポプラ、イタリアポプラ、イタリアヤマナラシ、ピラミッドヤマナラシ、ニグラポプラ)<矢口2009>
- ◇(学名なし\*) セイヨウハコヤナギ(イタリアポプラ、ポプラ)<佐藤2011>
- ◇*P. nigra* L. var. *italica* (Duroi) Koehne (*P. nigra* L. 'Italica') セイヨウハコヤナギ(ポプラ、イタリアヤマナラシ、ピラミッドヤマナラシ)<YList2012>

1-2. *P. nigra* 採用文献一覧(基本種としている)

- ◇*P. nigra* ヨーロッパクロポプラ<森田1973>
- ◇*P. nigra* L. アメリカヤマナラシ(クロヤマナラシ)<北村文雄・他1982>
- ◇*P. nigra* クロヤマナラシ<トニー・他2005>
- ◇(学名なし\*) ヨーロッパクロポプラ(クロポプラ)<生原2005>

1-3. *P. × canadensis* 採用文献一覧(雑種としている)

- ◇*P. × canadensis* ポプラ(セイヨウハコヤナギ)<大橋1997>
- ◇*P. × canadensis* Moench. (*P. nigra* L. var. *italica* Duroi を改める\*) セイヨウハコヤナギ(ポプラ)<長谷川1999>
- ◇*P. × canadensis* (*P. nigra* var. *italica*) ポプラ(ロンバルジーポプラ、イタリアヤマナラシ)<野田坂2011>

1-4. *canadensis* と *italica* の関係

従来は、狭円柱樹形のポプラは *P. nigra* の変種や品種とされる考えが一般的であったが、近年雑種起源であるとの説が以下文献などにみられる。

・大橋(1997)によると、「以前は起源がはっきりせず、学名もヨーロッパクロヤマナラシ(*P. nigra* \*)の変種や栽培品種とされていたが、現在はポプルス・カナディアンズを使い、国際植物命名規約によって種小名の前に雑種である×印をつける」と記している。

## 〔ヤナギ科 外来ポプラ類 *Populus* の和名・学名の混乱を検証する〕 (p3)

・長谷川(1999)によると、「ポプラの学名を *P. nigra* var. *italica* を用いたが、ポプラは近頃では雑種起源のものと考えられ学名は *P. × canadensis* Moench. Verz. Ausl. Baume Weissent. 81 (1785) が多用されるので訂正しておきたい。この種は *P. deltoides* (♂) × *P. nigra* (♀) 或いは *P. angulata* (♂) × *P. nigra* (♀) と考えられている」と記している。

・野田坂(2011)によると、「イタリアポプラの変種とする説が長く信じられてきたが、最近の研究ではヨーロッパクロヤマナラシ(*P. nigra*)とナミキドロ(*P. deltoides*)との雑種である、ということになり、*P. × canadensis* と変わった」と記されている。

一方、森田(1973)によると、「ヨーロッパポプラ(*P. nigra* \*)とアメリカクロポプラ(*P. deltoides* \*)の雑種のことを、A. Rehder が *P. canadensis* と命名したが、1950年の国際ポプラ委員会において、ユーラメリカポプラ(*P. euramericana*)と呼ぶように統一された。日本ではこれらの雑種ポプラを総称して改良ポプラと呼んでいる」と記されている。実際に *P. × canadensis* を、改良ポプラの学名とする文献が多い。

### 1-5. 狭円柱樹形のポプラの由来

・上原(1959)によると、「原産地は不明だとされているが欧州説と、クリミヤ、ヒマラヤ地方だとする説とある。(中略)一説に西方アジアから北イタリアのポー河堤防に移植されその中に交った雄株品種一株がこの変種であってそれから増殖されたと伝える。しかしその年代や事実についての証明は無く(中略)日本に渡来したのは明治10年以前であるといわれる。(中略)この樹はアメリカヤマナラシ(*P. nigra*)の変種ではないということをモッス(Moss)は主張している、その根拠は基本種と樹形、芽、葉、開花期等の異なる点を挙げている。しかしそれは雄雌の区別と混同しているのかも知れないといわれる。この変種が栽培品より出たか、自生品の中で見出されたか不明だがとにかく雄株である。この雌株についての報告もあるがこの方は円柱形樹形ではなく、稀品ではあるが形を異にする」と記されている。

・松崎・他(1983)によると、*P. nigra* var. *italica* (狭円柱樹形のポプラ \*) 明治中年渡来、と記されている。  
 ・湯浅(1995)によると、「北大のポプラ並木(セイヨウハコヤナギ *P. nigra* L. cv. 'Italica')は1903年(明治36年)に植えられたものという」と記されている。

### 1-6. 狭円柱樹形のポプラの考察

#### a. *P. nigra* (基本種説) 採用の検証

北村・他(1982)によると、狭円柱樹形のポプラに *P. nigra* を当てているが、写真と説明が *P. nigra* var. *italica* と逆になっており、北村文雄・他(2001)では出版社や記述陣は異なるが、*P. nigra* var. *italica* を狭円柱樹形のポプラとしていて、どちらかが違っているのかも知れない。

生原(2005)によると、狭円柱樹形である北大のポプラ並木のポプラをヨーロッパポプラとし、新宿御苑に生育しているポプラを変種のイタリアポプラ(セイヨウヤマナラシ)として、北大のものとは区別して記されている。しかしその説明は「イタリアポプラの幹は通直で、枝は上向き」としており、これは北大のポプラの性質と同じと思える。筆者は新宿御苑のポプラが狭円柱樹形であることを確認している(頁1の図)。また、森田(1973)やトニー・他(2005)では、*P. nigra* の変種の記述がなく、変種を認識していない。

以上のことをふまえて考察すると、狭円柱樹形のポプラを基本種 *P. nigra* とすることはできない。

#### b. *P. × canadensis* (雑種説) 採用の検証

狭円柱樹形のポプラが雑種起源であるとの報告を採用しているのは、いずれも信頼のおける文献である。しかし、種小名に *canadensis* を用いた学名はすでに多くの文献で改良ポプラに対して用いられており、横張りの枝を持つタイプが多い改良ポプラと狭円柱樹形のポプラとが区別されないことで問題が残ると思う。

#### c. *italica* (変種・栽培品種説) 採用の検証

雑種起源説を肯定すると、狭円柱樹形のポプラに *P. nigra* cv. 'Italica' の学名は適切ではなく、変種から雑種に認識が変わったことを注目すると、*P. nigra* var. *italica* を従来通り用いることもすこし釈然としない。

以上のように既知の学名はいずれも多少問題があるように思えるが、種小名に *canadensis* を用いることが世界的にはすう勢となっていくようである。しかし横張りの枝を持つタイプが多い改良ポプラ(*P. × canadensis*)とは導入時期もおよそ50年あまりも異なるうえ、樹形や枝ぶり葉質なども比較的安定していることから、わが国では両者を区別しておくことが必要だと考え、狭円柱樹形のポプラの学名は自然交雑種であることをふまえて便宜的に *P. × italica* (裸名)としておくのも一方法と考える。

◇学名：*P. × italica* nom. nud. (裸名) ◇和名：セイヨウハコヤナギ(イタリアヤマナラシ) (筆者使用)